

関係各位

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

令和 2 年度病虫害発生予察特殊報第 2 号を送付します。

令和 2 年度病虫害発生予察特殊報第 2 号

- 1 病虫害名 トビイロシワアリ (*Tetramorium tsushimae* Emery)
- 2 発生作物 促成ナス
- 3 発生経過

令和 2 年 9 月 15 日、県東部の施設ナスほ場において、一部の株でアリの寄生と食害が確認された。採取したア리를農林水産省神戸植物防疫所に同定依頼したところ、トビイロシワアリであることが判明した。

本種による被害として、これまでに福岡県、千葉県、広島県、香川県、佐賀県、長崎県、山口県、滋賀県、群馬県、茨城県、静岡県、埼玉県、長野県、新潟県、東京都、石川県、神奈川県および福島県の計 18 都県のナス、トマト、キャベツ、ブロッコリー、はくさい、カンキツ、バレイショ、アスター、ハボタンなどで報告されているが、本県での被害確認は初めてである。

- 4 被害の特徴

株元に土を盛って営巣し、主に根や地際部の茎を加害してくぼんだ食害痕を形成する(写真 1)。激しく食害を受けた株が萎凋、枯死に至る事例も報告されている。また、今回の事例では茎頂部(写真 2)および花卉への食害も確認した。

- 5 形態・生態

本種は屋久島以北の日本各地に分布しており、西南日本では野外でごく普通に見られる。働きアリの体長は 2.5mm 前後、体色は褐色から黒褐色で、頭部の表面にはほぼ平行に縦走するしわを有する。また、腹柄は 2 節あり、前伸腹節後背部には 1 対のとげ状の突起(前伸腹節刺)を有する(写真 3、4)。草地や裸地など開けた環境に生息し、石の下や土中に営巣する。雑食性であり、昆虫、植物の芽や種子、樹液や甘露など幅広く食する。

- 6 防除対策

現時点で、ナスおよびその他の作物において本種に適用のある農薬はなく、深耕やほ場周辺の除草、灌水で巣を破壊するなど、物理的・耕種的防除に努める。

お問合せは、病虫害防除所(TEL:088-863-1132)または環境農業推進課(TEL:088-821-4861)まで



写真1 地際部の食害



写真2 茎頂部の食害

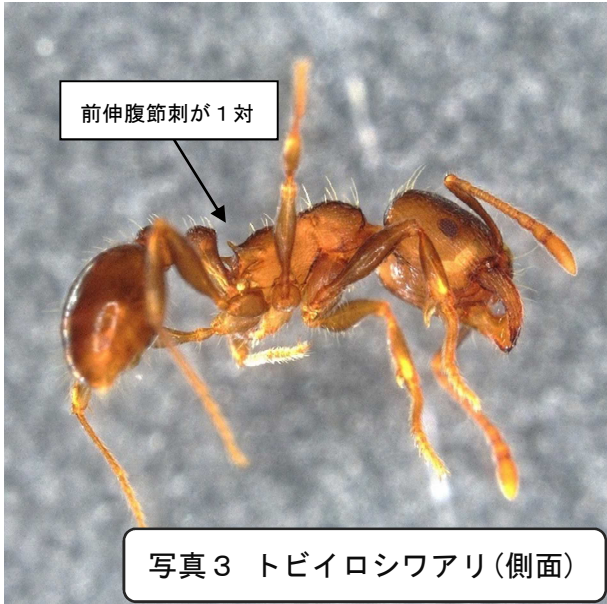


写真3 トビイロシワアリ(側面)



写真4 トビイロシワアリ(背面)